

お客様各位

日興アセットマネジメント株式会社

**「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型  
(ブラジルリアルコース)／(インドルピーコース)／(中国元コース)／(ネクストBRICs通貨コース)」  
2016年5月決算と今後の市場見通しについて**

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型」の各通貨コースは、2016年5月6日に決算を行ないました。

今回の決算において、当ファンドは、市況動向や基準価額に対する分配金額などの状況を総合的に勘案し、また、分配金額を減らすことで運用を行なう資産を増やし、将来の運用成果を高めることをめざして、分配金額を引き下げることと致しました。

次ページ以降で、市況動向や今後の見通しなどについてQ&A形式でご説明しておりますので、ご一読いただけますと幸甚です。

今後とも、「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型」をご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

**「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型」各通貨コースの状況**

	ブラジルリアルコース	インドルピーコース	中国元コース	ネクストBRICs通貨コース
今回(2016年5月)の分配金*	20円	20円	20円	20円
前回(2016年4月)の分配金*	40円	40円	40円	40円
前回までの分配金累計額*	8,680円	7,530円	7,200円	6,180円
2016年5月6日現在の基準価額 (税引前分配金控除後、1万口当たり)	2,202円	3,297円	4,360円	4,235円

\* 税引前、1万口当たりの値です。

- 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行なわない場合があります。
- 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

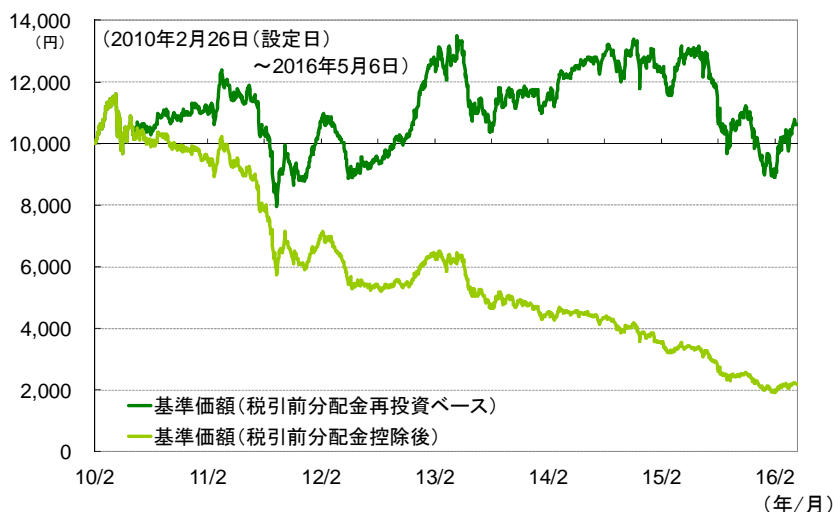
当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)／(インドルピーコース)／(中国元コース)／(ネクストBRICs通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

**Q1** なぜ分配金額を変更したのですか？



基準価額に対する分配金額の水準が高まっていることや、分配金額を減らすことで期待される運用資産増加の効果、および足元で不透明感の高まっている市況動向などを総合的に勘案し、今後も安定的な分配金のお支払いを継続することをめざすために、今回の決算において分配金額を引き下げることと致しました。

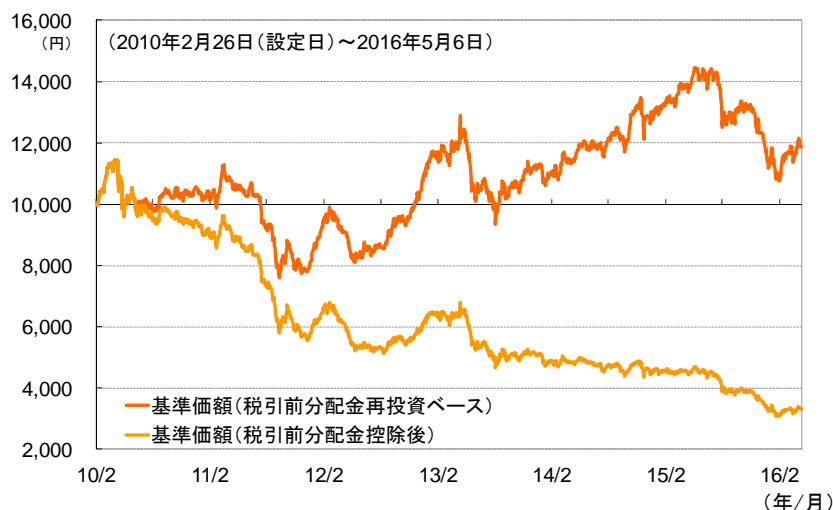
**(ブラジルリアルコース) 設定来の基準価額と分配金額の推移**



基準価額(2016年5月6日現在)  
税引前分配金再投資ベース…10,627円  
税引前分配金控除後…………… 2,202円

設定来分配金累計	
8,700円	
2010/7～2011/10	2011/11～2012/7
190円/月	150円/月
2012/8～2015/4	2015/5～2015/10
110円/月	70円/月
2015/11～2016/4	2016/5
40円/月	20円

**(インドルピーコース) 設定来の基準価額と分配金額の推移**



基準価額(2016年5月6日現在)  
税引前分配金再投資ベース…11,872円  
税引前分配金控除後…………… 3,297円

設定来分配金累計	
7,550円	
2010/7～2011/10	2011/11～2012/7
150円/月	130円/月
2012/8～2015/4	2015/5～2015/10
100円/月	70円/月
2015/11～2016/4	2016/5
40円/月	20円

(次ページに続きます)

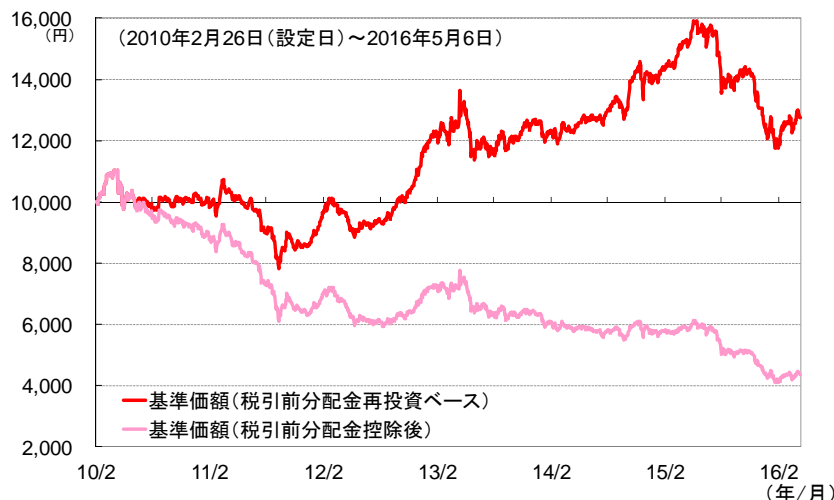
- 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
- 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
- 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定的な分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行なわない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/ (インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(前ページより続きます)

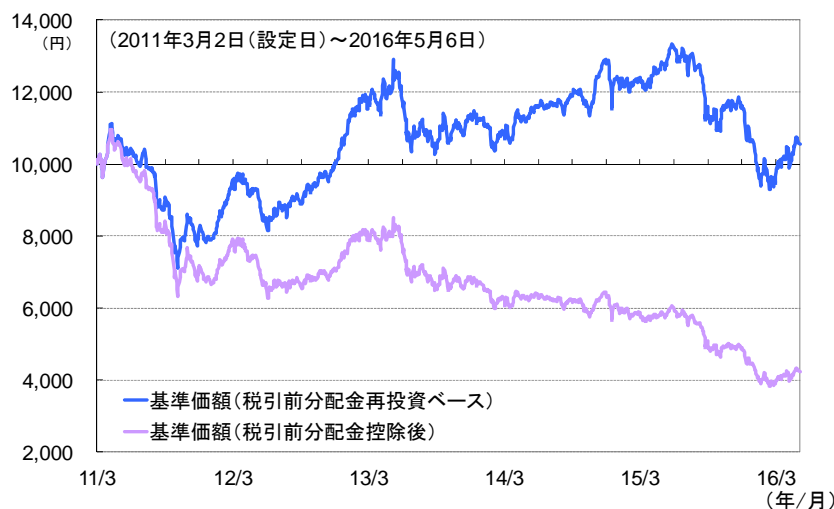
**(中国元コース) 設定来の基準価額と分配金額の推移**



基準価額(2016年5月6日現在)  
税引前分配金再投資ベース…12,768円  
税引前分配金控除後…………… 4,360円

設定来分配金累計	
7,220円	
2010/7～2011/10	2011/11～2012/7
135円/月	120円/月
2012/8～2015/4	2015/5～2015/10
100円/月	70円/月
2015/11～2016/4	2016/5
40円/月	20円

**(ネクストBRICs通貨コース) 設定来の基準価額と分配金額の推移**



基準価額(2016年5月6日現在)  
税引前分配金再投資ベース…10,564円  
税引前分配金控除後…………… 4,235円

設定来分配金累計	
6,200円	
2011/4～2011/10	2011/11～2012/7
150円/月	130円/月
2012/8～2015/4	2015/5～2015/10
100円/月	70円/月
2015/11～2016/4	2016/5
40円/月	20円

ネクストBRICs通貨は、トルコリラ、南アフリカランド、メキシコペソ、インドネシアルピア、韓国ウォンの5通貨を指します。

- 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
- 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
- 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/ (インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

**Q2 投資対象資産の市況動向について教えてください**



**足元の新興国資産の動向**

2015年4月以降、新興国資産は、米国の利上げに対する不透明感や商品市況の下落、中国経済の減速懸念などを背景に、大幅に下落しました。しかし2016年に入ると、米国の追加利上げのペースが緩やかなものになるとの観測や原油価格の反発などを好感し、上昇に転じました。過去1年を通じてみると、米国金利が低下傾向にあったことから相対的に利回りの高い新興国社債が選好され、小幅のプラスとなった一方で、新興国株式や新興国不動産は下落しました。特に新興国株式は、通貨安の影響を大きく受けて下げ幅を拡げました。

そうしたなか、新興国経済は、商品市況の落ち着きや通貨安に伴う輸出競争力の回復を背景に、足元で持ち直しの動きを見せています。また、日欧で緩和的な金融政策が継続すると見込まれることや、米国の利上げペースは緩やかなものになるとみられることなどから、市場心理は改善しつつあります。

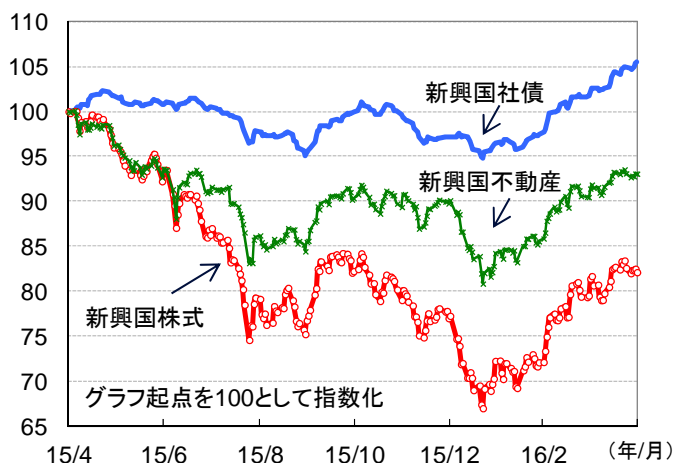
**新興国為替市場の動向**

2015年、新興国通貨は、対円、対米ドルともに総じて軟調な推移となりました。商品市況の下落や中国元の実質的な切り下げ、米国の利上げなどが新興国通貨全体を押し下げました。

2016年に入ると、先進国経済が足踏みをするなか、ロシアやブラジル、中国などでは通貨安の恩恵を受けて輸出を中心に経済が改善基調となっています。こうした国の通貨は足元で持ち直しの動きを見せていますが、短期的に円高・米ドル安が進んだことから、対円では上値の重い展開となっています。

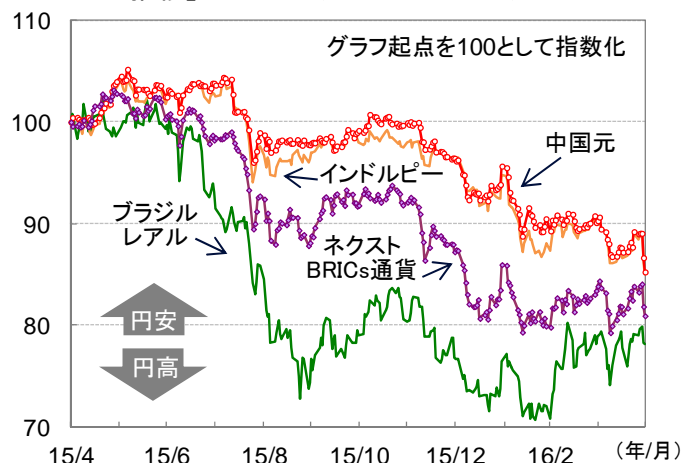
昨年特に下落幅が大きかったブラジルレアルは、今年3月以降、商品市況の持ち直しに加え、現職大統領が退陣するとの観測が強まり、政局低迷が打破されるとの期待が高まったことから大きく上昇しました。

【当ファンドの投資対象資産の値動き(米ドルベース)】  
(2015年4月30日～2016年4月29日)



- 新興国社債: JPモルガンCEMBIブロード・ディバースファイド・ノン・インベストメントグレード
- 新興国株式: MSCIエマージングマーケット指数
- 新興国不動産: MSCIエマージングマーケット不動産株指数およびCSエマージングマーケット不動産社債指数の平均リターン

【当ファンドの各通貨コースが対象とする為替(対円レート)の推移】(2015年4月30日～2016年4月29日)



ネクストBRICs通貨は、トルコリラを1/3、南アフリカランドを1/3、メキシコペソを1/6、インドネシアルピアを1/12、韓国ウォンを1/12の割合で合成した値です。

※ 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

当ページのコメントは、当ファンドの各通貨コースの実質的な運用会社である、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドから提供されたデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルレアルコース)/(インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



**Q3 新興国資産について、今後の見通しを教えてください**



**新興国社債について**

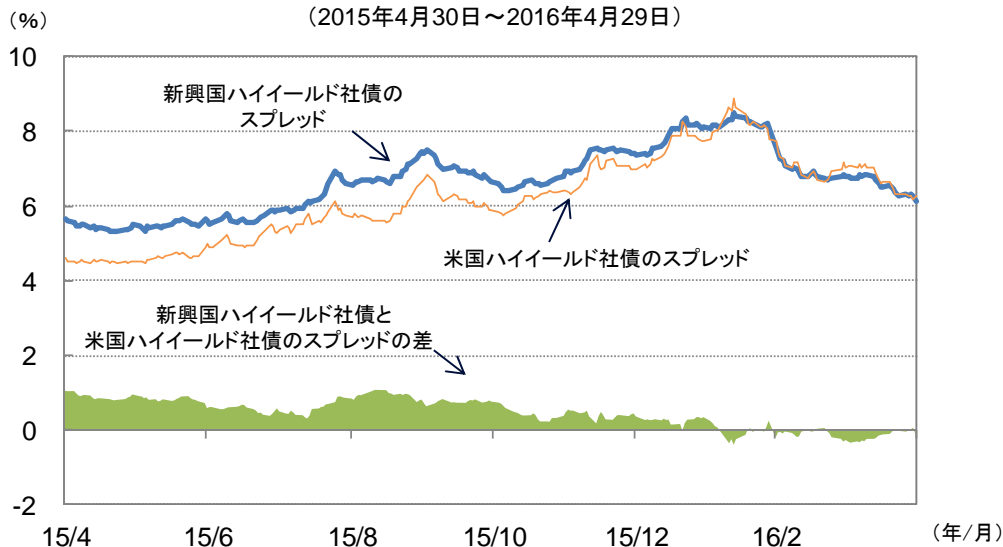
新興国社債のうち、当ファンドが主な投資対象とする新興国ハイイールド社債は、商品市況の底打ち期待や新興国経済の相対的な成長率の高さを背景に、足元で堅調に推移しています。

米国をはじめとする先進国では、原油安を背景に、エネルギー関連セクターを中心に企業収益が悪化しており、発行体の格下げやデフォルトが相次ぐなど、信用リスクが高まっています。

一方、新興国ではエネルギー関連企業の多くが国営または一部国営化されていることから、国家による後ろ盾が期待できます。足元の新興国ハイイールド社債のスプレッド(米国国債に対する上乗せ金利)をみると、比較的高い水準で推移していますが、必ずしも企業の信用リスクが悪化している訳ではないため、新興国ハイイールド社債は相対的に割安な水準にあると考えられます。

世界的な低金利環境が続くなか、相対的に金利水準が高く、割安とみられる新興国社債の需要は高まると考えられ、今後も投資資金の流入が期待されます。

**【新興国ハイイールド社債と米国ハイイールド社債のスプレッド推移】**  
(2015年4月30日～2016年4月29日)



- 新興国ハイイールド社債: JPモルガンCEMBIブロード・ディバースィファイド・ノン・インベストメントグレード
- 米国ハイイールド社債: BofA メリルリンチ米国ハイイールドマスターII

※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

(次ページに続きます)

当ページのコメントは、当ファンドの各通貨コースの実質的な運用会社である、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドから提供されたデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/ (インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(前ページより続きます)

## 新興国株式について

市場のリスク回避姿勢が後退したことなどから、新興国株式は足元で堅調に推移しており、1月以降は先進国株式を上回る上昇を見せています。

昨年、政治不安などから大きく下落したブラジル株式は、政権交代による経済の好転が期待されることから、上昇に転じています。また中国では、外需主導の経済から内需主導の経済へと構造改革を進める過程において、足元では減速感がみられるものの、財政政策や更なる金融緩和策が期待できることから、景気減速や市場の混乱に対し、十分に対応が可能であると考えます。

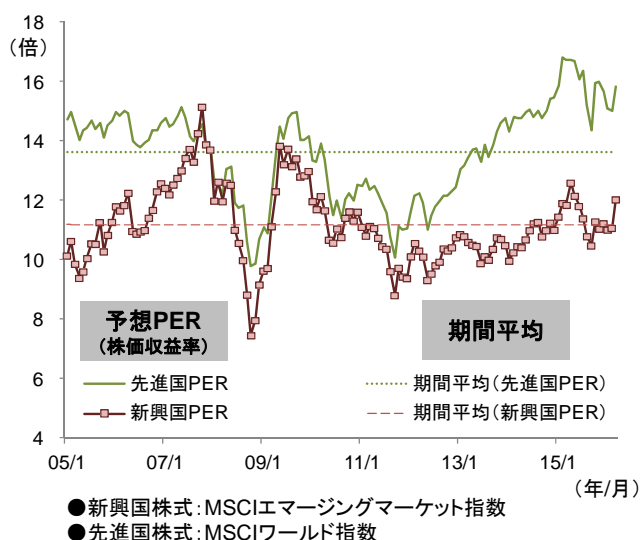
また、新興国株式のバリュエーションは、先進国株式と比べ、割安な水準で推移しています。加えて、新興国企業は今後ファンダメンタルズの改善も期待できることから、相対的に堅調な推移が期待されます。

## 新興国不動産について

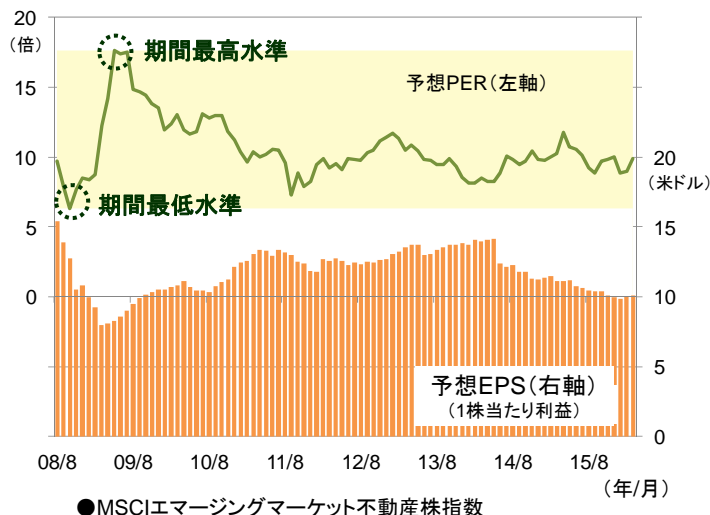
他の新興国資産と同様に、新興国不動産も足元で好調に推移しています。

世界的に債券利回りが低水準にあることから、相対的に利回りの高い新興国不動産セクターへの需要は今後も高い水準を維持するとみられます。また、新興国における都市化進展の動きに変化はなく、住宅需要は拡大傾向にあるため、新興国不動産企業を取り巻く環境は引き続き良好であると考えます。

【先進国および新興国株式の予想PERの推移】  
(2005年1月末～2016年3月末)



【新興国不動産株式の株価指標の推移(米ドルベース)】  
(2008年8月末～2016年3月末)



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

当ページのコメントは、当ファンドの各通貨コースの実質的な運用会社である、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドから提供されたデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/ (インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q4 各通貨について、今後の見通しを教えてください



### ブラジルレアル

- 今年3月以降、ブラジルレアルは上昇に転じましたが、引き続き割安感が強く、中期的に更なる上昇の可能性が高いと考えられます。ルセフ大統領に対する弾劾が成立する可能性が高まったとの見方もあり、為替市場では、次期大統領による汚職撲滅や適切な経済政策に対する期待感が高まっています。また、これまでの通貨安を受けて経常収支が改善基調にある点も、プラスの影響を与えるとみられます。先進国の金利が引き続き低水準にあるなか、ブラジルレアルの高い金利水準は相場の下支え要因になると考えます。

### インドルピー

- インドルピーは、短期的にはモディ首相の支持率低下やインフレ率の上昇、金融機関の不良債権増加といった懸念材料はあるものの、今年度の予算で構造改革への取り組みが確認されたこともあり、中長期的には通貨高に向かうものとみられます。政府による規制緩和や行政改革は着実に進展しており、今後も為替市場を下支えするものと考えます。

### 中国元

- 中国では、政府が外需主導型経済から内需主導型経済への転換を推進するなかで、足元の景気は減速傾向にあるものの、ハードランディングの可能性は低いと考えます。中央銀行は輸出拡大のために通貨安を誘導する意図はなく、資本流出を招かないよう為替水準を注意深くコントロールしていくものと見込まれます。

### ネクストBRICs通貨

- ネクストBRICs通貨構成通貨の中では、流動性に優れ、値動きの大きいメキシコペソが特に堅調に推移すると考えます。これまでの対米ドル安によって米国企業に対する競争力が向上していることに加え、政府が財政収支改善に向け、追加で歳出の削減を決めたことも通貨の上昇をサポートするとみられます。
- インドネシアでは、年初来3度の利下げが行なわれましたが、物価の安定から追加利下げの余地が大きく、海外からの資金流入が続いています。通貨ルピアも、海外投資家の現地通貨建て債券市場への強い投資意欲を背景に通貨高が進むものとみえています。
- 南アフリカでは、新年度の政府予算案の内容が市場で一定の評価を得たものの、足元で政治的な不透明感が高まっており、通貨ランドに対しても慎重な見方をしています。
- トルコリラは、原油価格が安定化に向かうなか、中央銀行の金融政策によるインフレ懸念の上昇や、エルドアン大統領が権限を過度に拡大するリスクが高まっていることなどから、上値の重い展開が予想されます。
- 世界的に製造業セクターの景気悪化が続くなか、韓国ウォンもマイナスの影響を受けています。さらに日銀による追加緩和や人民元の切り下げ懸念なども、引き続き通貨の下落圧力になるとみられます。

ネクストBRICs通貨は、トルコリラ、南アフリカランド、メキシコペソ、インドネシアルピア、韓国ウォンの5通貨を指します。

当ページのコメントは、当ファンドの各通貨コースの実質的な運用会社である、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドから提供されたデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご覧いただき「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルレアルコース)/(インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

**Q5 アッシュモア社\*が運用において行なっている工夫  
などについて教えてください**



\* 当ファンドの各通貨コースの実質的な運用会社である、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドをいいます。

**資産別投資配分の柔軟な変更**

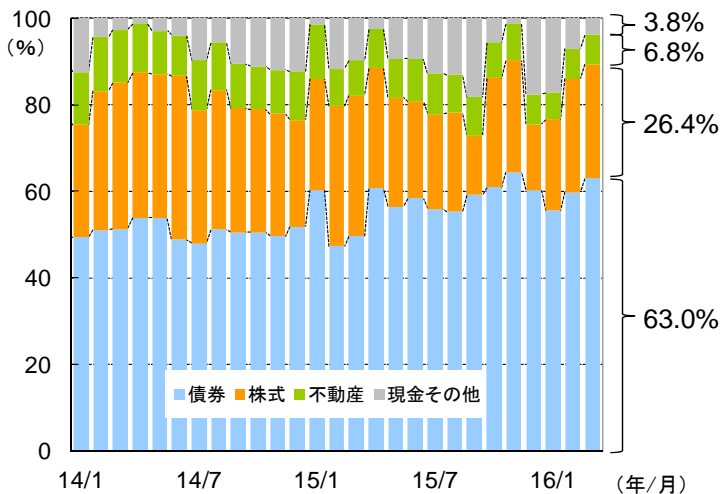
当ファンドは、新興国の成長を包括的に享受するため、新興国の債券(社債)、株式、不動産に投資します。その際、インカム収入を含めたトータルリターンを最大化をめざし、資産配分をアクティブに変更します。

2015年は、新興国資産は総じて軟調な展開となりました。当ファンドでは株式の投資比率を引き下げて債券の比率を高めるなど、保守的な投資配分としました。特に株式の下落が著しかった8~9月や12月にかけては、下落の影響を抑制するため、株式の投資比率を大きく引き下げました。

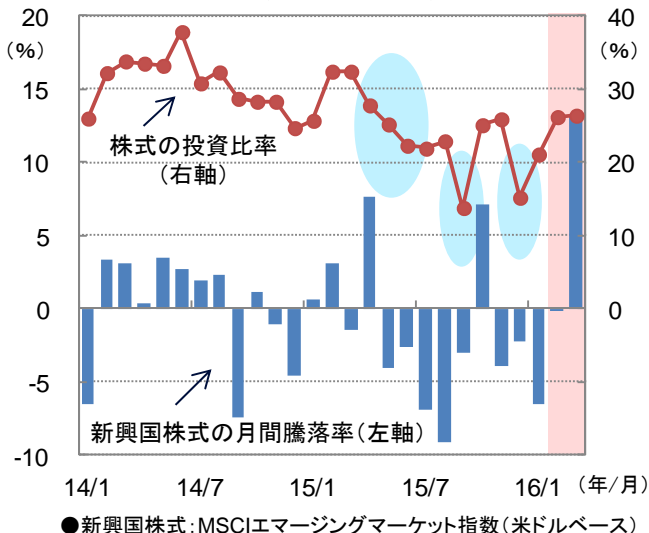
2016年2月以降は投資家心理が好転したことから、資産の成長をとらえることをめざし、新興国社債や新興国株式への投資比率を引き上げました。こうした柔軟な対応が、パフォーマンスに貢献したと考えられます。

新興国市場の回復見通しから、当面は積極的に資産の成長をとらえることをめざした資産配分を維持する考えですが、市場のリスク回避傾向が強まる局面では再び株式の投資比率を引き下げるなど、今後も機動的な調整を行なう方針です。

【資産別投資比率\*の推移】  
(2014年1月末~2016年3月末)



【新興国株式の月間騰落率と株式の投資比率\*】  
(2014年1月末~2016年3月末)



\* 上記のグラフにおける「投資比率」は、当ファンドの主要投資対象である外国投資法人の純資産総額比率です。

※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

当ページのコメントは、当ファンドの各通貨コースの実質的な運用会社である、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドから提供されたデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/ (インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## Q6 各コースの分配金額は、今後も引き下げの可能性はあるのでしょうか？

分配金額は、毎決算時に委託会社が収益分配方針に基づいて決定していますので、今後の市況動向や基準価額の水準、分配金の原資などの状況によっては、現在の分配金の水準を変更する場合、あるいは分配金の支払いを行わない場合があります。よってあらかじめ一定の額の分配金のお支払いをお約束するものではありません。ただし、当ファンドは今後も収益分配方針に則り、安定した分配金を継続してお支払いすることをめざします。

※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。

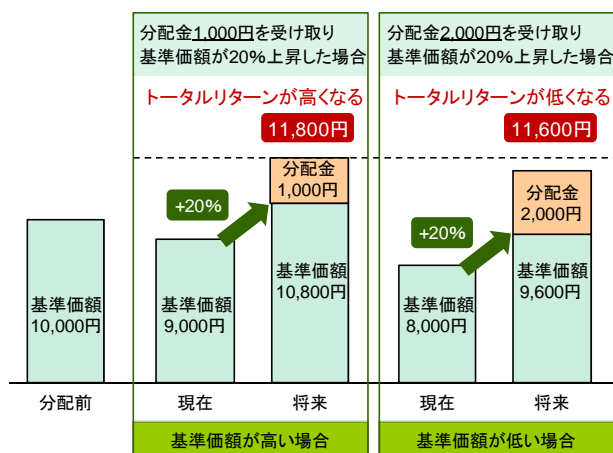
## Q7 分配金を多く支払うファンドに乗り換えた方がいいですか？

分配金はファンドの運用成果の一部として、決算日における受益者(投資者)の皆様へ、当該ファンドの信託財産の中から支払われるものです。こうしたことから、分配金が支払われると、当該分配金の分だけ基準価額は低下します。

ファンドで得られた収益などをどのように配分するか(分配金として支払う/内部留保として投資に振り向ける)は、各ファンドによって異なることから、分配金額の多い/少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではなく、受益者にとって直接的な投資成果の優劣につながりません。

よって、ファンドへの投資成果を検証される場合には、投資資金に対する分配金額の多寡ではなく、検証時における基準価額の水準を含めた総合的な収支をもって行なわれることが、重要であると考えます。

また、分配金額の引き下げに伴う差額はファンドの信託財産に留保されます。そのため、投資資産の値上がりなどにより基準価額が上昇する局面では、分配金額を引き下げてファンドの基準価額を高く保った方が、分配金を多く支払い、基準価額が低い場合に比べ、基準価額の上昇幅が大きくなります。



※上記はイメージ図です。

## Q8 引き下げた分の分配金はどこにいったのですか？

分配金はファンドの純資産から支払われるため、今回の分配金額の引き下げに伴い、従来の分配金額から減少した差額は当ファンドの純資産に内部留保され、投資に振り向けられることとなります。

## Q9 分配金額を事前に知ることはできますか？

分配金額は、毎決算時に委託会社が収益分配方針に基づいて決定しています。従って、決算日に基準価額が公表されるまでは事前にご確認いただくことはできません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

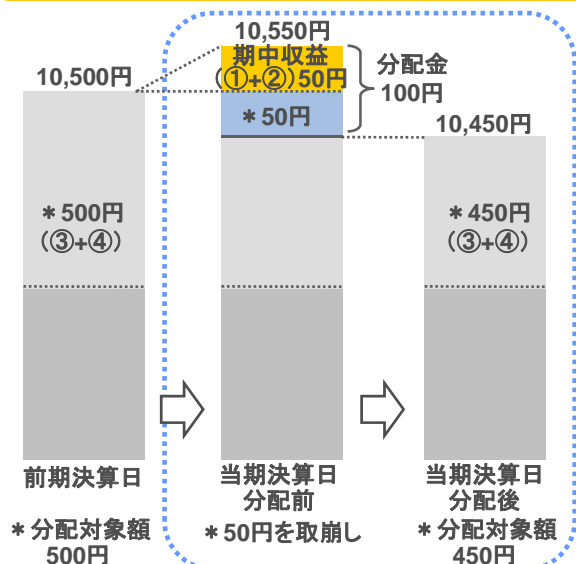
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



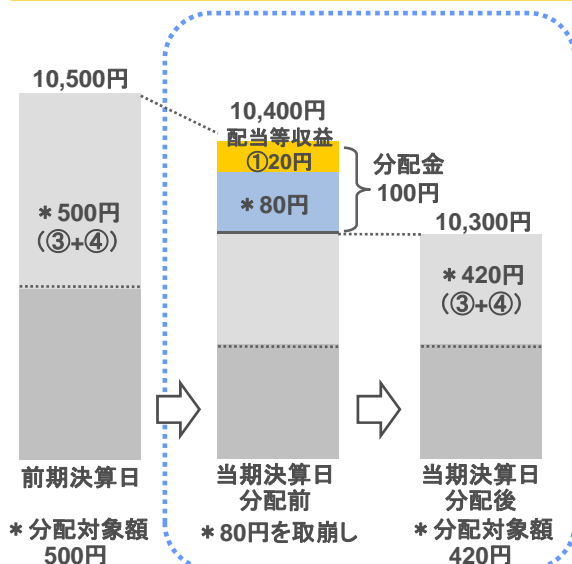
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算から基準価額が下落した場合

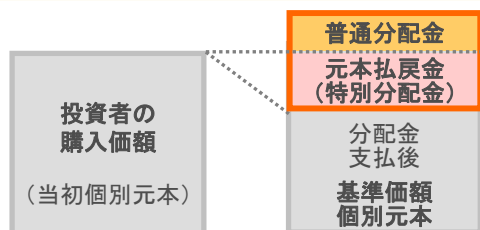


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

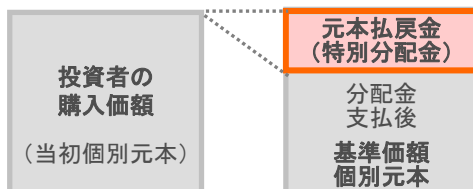
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



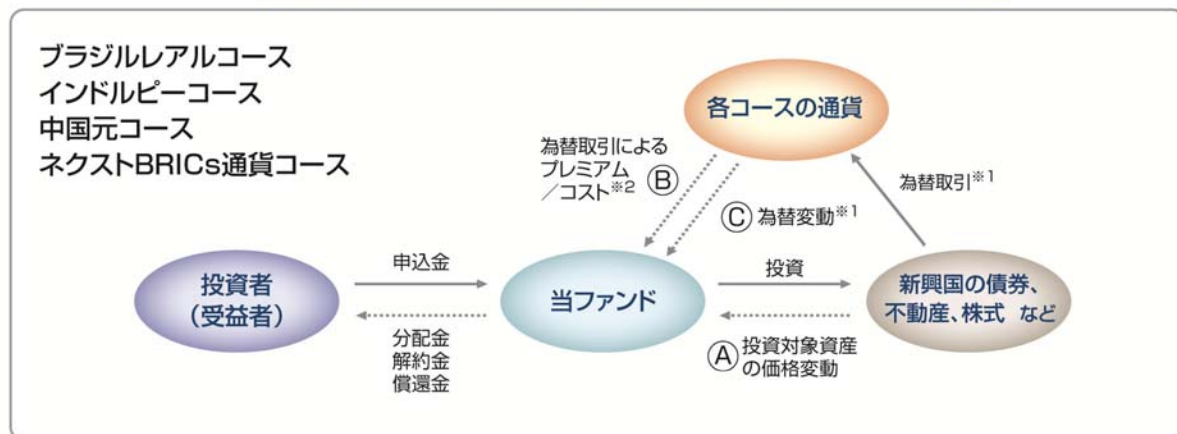
※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## 通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 G7の国の通貨部分については、各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。その他の通貨部分については、当該通貨と円の為替変動リスクがあります。

※2 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉	= ① 資産の値上がり/値下がり + ② 為替取引によるプレミアム/コスト + ③ 為替差益/差損		
	①	②	③
ブラジルリアルコース インドルピーコース 中国元コース ネクストBRICs通貨コース	収益が得られるケース	投資対象資産(債券、株式、不動産)の上昇など	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの通貨の金利 <sup>※1</sup> - 原資産通貨の金利 が <b>プラス</b>
	損失やコストが発生するケース	投資対象資産(債券、株式、不動産)の下落など	コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの通貨の金利 <sup>※1</sup> - 原資産通貨の金利 が <b>マイナス</b>
			為替差益の発生 各コースの通貨/ その他の通貨 <sup>※2</sup> に対して <b>円安</b>
			為替差損の発生 各コースの通貨/ その他の通貨 <sup>※2</sup> に対して <b>円高</b>

※1 ネクストBRICs通貨コースにおいては、当該時点における投資通貨の加重平均となります。

※2 その他の通貨とは、当ファンドにおいては為替取引を行なわないG7以外の国の通貨をさします。

\* 市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

## 通貨運用についてのご留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。



## ■お申込みに際しての留意事項

「リスク情報」

### 日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型

(ブラジルリアルコース)/(インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券、株式および不動産投信を実質的な投資対象としますので、債券、株式および不動産投信の価格の下落や、債券、株式および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

**【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【デリバティブリスク】**

- ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- ※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。
- ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### 日興マネー・アセット・ファンド

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

**【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】**

- ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

「その他の留意事項」

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/(インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。



以下は、【各通貨コース】は日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型の各通貨コースの内容、【マネー・アセット】は日興マネー・アセット・ファンドの内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

## ■お申込メモ

商品分類	【各通貨コース】追加型投信／海外／資産複合 【マネー・アセット】追加型投信／国内／債券
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	【各通貨コース】購入申込日または購入申込日の翌営業日がニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガーンジーの銀行休業日に当たる場合、および購入申込日から起算して9営業日目までの期間中に、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガーンジーの銀行休業日が2日以上ある場合には、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※日興マネー・アセット・ファンド スイッチングを伴う購入申込みについて、スイッチング対象である上記ファンドの換金不可日には受付を行ないません。
信託期間	2020年2月3日まで(2010年2月26日設定) ※ ただし、日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ネクストBRICs通貨コース)は、2020年2月3日まで(2011年3月2日設定)
決算日	【各通貨コース】毎月3日(休業日の場合は翌営業日) 【マネー・アセット】毎年2月3日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	【各通貨コース】換金請求日または換金請求日の翌営業日がニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガーンジーの銀行休業日に当たる場合、および換金請求日から起算して9営業日目までの期間中に、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガーンジーの銀行休業日が2日以上ある場合には、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※日興マネー・アセット・ファンド スイッチングを伴う換金の申込みについて、スイッチング対象である上記ファンドの購入不可日には受付を行ないません。 * スwitchingを伴わない換金の申込みについては、販売会社の営業日に受付を行ないます。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して9営業日目からお支払いします。

以下は、【各通貨コース】は日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型の各通貨コースの内容、【マネー・アセット】は日興マネー・アセット・ファンドの内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	【各通貨コース】 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は、 <u>3.78%(税抜3.5%)</u> を上限として販売会社が定める額とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。  【マネー・アセット】ありません。 ※ 日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型の各通貨コースからのスイッチングのみ。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	【各通貨コース】換金時の基準価額に <u>0.25%</u> の率を乗じて得た額 【マネー・アセット】ありません。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	【各通貨コース】純資産総額に対して <u>年率2.3192%(税抜2.24%)</u> 程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。  【マネー・アセット】純資産総額に対して <u>年率0.594%(税抜0.55%)</u> 以内を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
 日本証券業協会

受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社  
 (再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。  
 日興アセットマネジメント株式会社  
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
 [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型  
 (ブラジルリアルコース)/(インドルピーコース)/(中国元コース)/(ネクストBRICs通貨コース)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

日興マネー・アセット・ファンド

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)